



小林 剛 議員

常総市の令和4年度現在の財政状況について

問 水害前よりも基金に積み立てができています。引き続き行財政改革を実施する

答 小林議員の質問動画



議員

水害時からの財政調整基金の推移について伺う。

総務部長

財政調整基金の残高は、平成26年度末に35億3千万円あったものの、平成27年度末には関東・東北豪雨災害の復旧・復興に充てるため11億円を取り崩し、24億3千100万円となった。その後、平成29年度に1億2千万円、令和2年度に2億円を積み立てた。令和3年度には、11億8千万円を積み立て、令和3年度末に39億8千万円となったが、これは他団体においても同様である。

議員

水害時には11億円を切り崩したものの、その後、現在まで積み立ててきているということだが、新型コロナウイルスも災害と捉え、財政調整基金を切り崩し、救済や市民サービスに使うべきではないか。

行財政改革課長

特定の目的のための補助や交付金については国の100%の財源が措置されており、ワクチン接種をはじめコロナ対策も十分行っ

いる。しかし法人税や償却資産が増加していることもあり、結果として基金を積み立てたという状況である。

議員

減債基金はどうなっているか。

総務部長

平成22年度から令和2年度までは運用益を積み立て、6億9千100万円となり、臨時財政対策債の一部の償還経費として3億5千300万円が措置されたため同額を積み立て、令和3年度末に10億4千400万円となっている。

議員

経常収支比率について伺う。

総務部長

令和元年度は92.5%、令和2年度は90.5%、令和3年度は83.0%となっている。

議員

パーセンテージが下がってきているのは改善しているということだと思う。財政課が行財政改革課と名称が変更され本気度が伺える。市の行財政改革、財政再建を思い切っ



茂田 信三 議員

虚偽答弁隠ぺいは絶対にしてはいけない

問 ホームページの読み違いであった

答 茂田議員の質問動画



議員

6月議会における保健推進課長の虚偽答弁について問う。きぬ医師会の診療は、実際は隔週であるにもかかわらず、毎週診療していると答弁している。

市長

それは間違いで、お詫び申し上げます。

議員

議会後、土曜日にきぬ医師会病院に行ったが、診療していないと苦情の電話があった。このことをどのように考えているか。

総務課長

一般質問の答弁は事実に基づいて答弁するものであり、不誠実、誤った内容であり市民の皆様にも多大なる迷惑をかけ、誠に申し訳ない。

議員

保健推進課長の答弁後の虚偽答弁の隠ぺいを断じて許すことができない。このような怠慢な行為はこれで三度目である。今までのどういう処分をしたかお聞きしたい。

総務課長

一度目は、口頭注意。二度目も口頭注意。今回は文書による注意。

議員

民間企業ではそれでは済まない。一般通念上あり得ない。どのような調査をしたか尋ねる。

保健衛生部長

ホームページで調べ、読み違いだった。大変反省している。

議員

資料の読み違いでなく、怠慢である。一般会社でなら首である。一般質問を軽く考えているのである。質問者は真剣である。きぬ医師会にいくら補助しているか。

保健衛生部長

小児科運営費補助金6百万円、地域医療補助金を3市で1千万円(当市が740万円)補助している。

議員

このような補助を出しているのだから、毎週土曜日の診療を要望する。この件に関して議場で保健推進課長の謝罪と説明を求め

議長

通告にないからできない。

議員

通告済みである。その様なことであるから、何回やっても直らないのである。